

令和5年度 自己評価シート

- A: よく出来ている
- B: まあまあ出来ている
- C: あまり出来ていない
- D: 全くできていない

※意見・改善策は必ず記入すること

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育理念	①保育理念や保育方針を理解し、共感している	10	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保育理念や保育方針について園長や理事長の話を聞く機会があるとよい ・掲示されている場所が見やすく、振り返りもできて良かった ・定期的に会議で不適切保育について確認することがあるので、自分の保育の見直しに繋がっている ・保育理念、方針を理解した上で献立を立てたり食育活動を行っている
	②全ての子どもについて一人ひとりの存在と人権を尊重している	14	5	0	0	
	③日頃から、子どもに身体苦痛を与えたり、人格を辱めるなど精神的苦痛を与えることがないようにしている	13	5	0	0	
保育目的	①保育目標は、社会の要請や実態、地域性や保護者の願いを考慮し、反映している	7	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・正社員だけでなく、パートも含めて会議ができる ・保育目標について全職員で検討していない ・保育目標を全職員で検討する時間を作る事が難しいが各クラスの反省をみたり、引き継いだりして、次年度の目標を作る事が出来ている
	②保育目標は、前年度の反省を活かし、全職員で検討し、かつ共通理解を図っている	4	9	2	0	
指導計画	①保育園の方針である保育計画をもとにして、指導計画を作成している	7	6	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・季節や行事ごとに製作物が飾られていて四季を感じられるのが良い ・クッキングや食育など年間を通して徐々にレベルアップした内容に設定されていると思う。子どもたちの成長も感じられ、今年度の反省から来年度も内容を設定していく ・6年間通したカリキュラムを強化していきたい(製作、着脱、支度など) ・指導計画は時間に追われ個々に合った計画までできていない。しかし大まかな計画でも立てることにより自分自身の気付きになっている
	②季節や伝統な行事など指導計画の中に取り入れるようにしている					
	③保育所の生活における子どもの発達過程を見直し、生活の連続性などを考慮し、子どもにあった具体的なねらいに及び内容を設定し、必要に応じて見直しを行っている	7	6	2	1	
	④様々な表現活動が体験できるように配慮している	6	9	2	0	
保育内容	①子ども一人ひとりへの理解を受容しようと努めている	11	7	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児の経験がなかった為、本や資料で知識を得てもなかなか実際の保育で活かしきれなかった ・時間に追われてしまい、ついこっちでやってしまい、基本的な生活習慣が身に付くよう丁寧に対応してあげる機会が少ない ・子どもたちの体調や気持ちに配慮しながら活動の支援を行うように心がけていきたい ・保育士が楽しんでる姿を見せることで子どもたちも喜んで参加できていると思う ・地域や社会との関わりが少ないと思う
	②子どもの基本的な生活習慣が身につくように積極的に活動できるよう、環境が整備されている	8	8	3	0	
	③身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	5	13	2	0	
	④遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している	11	9	1	0	
	⑤様々な表現活動が体験できるように配慮している	6	9	2	0	
保育・行事	①一日の流れ(ディリープログラム等)は現行で正しい	8	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの主体性を尊重し、運動会や製作などを考えている ・行事では担当との会議で事前に内容を検討し、意見を出し合い子どもたちが楽しめるものを取り入れるようにしている ・製作や行事、正課など毎日忙しく、園庭や戸外で遊ぶ時間があまり取れない
	②子どもが期待をもって行事に参加できるよう、年間計画の段階から子どもの主体性を尊重する保育場面を用意している	6	8	1	0	
	③行事の意味を十分に考えてから保育の中に取り込んでいる	8	6	2	0	
健康管理	①子どもの体調の些細な変化や異常に速やかに対応するために日常的な体調や機嫌の状態をつかむよう努めている	11	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日子どもの機嫌や顔色等で健康状態を確認している。幼児クラスも午睡中は30分置きにSIDS予防の為、プレスチェックを行っている ・コロナ対策が緩和されて風邪や休み等の対応や基準に差や捉え違いがあったがその都度国の基準を確認することが出来た ・子どもの体調等については、自分だけでなくクラス担任同士伝え合い情報を共有するように心掛けています ・便の様子や些細な傷など気になる事があったらこまめに職員に伝え合っている
	②健康観察で子どもの健康状態をある程度判断することができる	7	10	1	0	
	③睡眠中の子どもの顔色、呼吸の状態を観察するなどSIDS等への予防に努めている	13	5	0	0	
食事	①食事を通して子ども達が楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している	13	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・苦手な食材になかなか手を付けられない児も多いため、食材を小さくしたり、意欲が出る声掛けをしたり、食べられた時は大いに褒める等子どもに合わせた援助を行っている ・食事のマナーなどは保育者が伝え、形状や栄養バランスなどは栄養士が中心となり保護者と関わっていかるとよい ・アレルギー児の対応は横浜市のマニュアルに沿って行うことが出来ていると思うので引き続き事故のないようにし、細かいことでも調理場と保育士の確認をしっかりと行っていきたい
	②アレルギー疾患を持つ子に対し、主治医からの指示を得て、適当な対応を行っている	13	5	0	0	
	③間違えないよう個別のトレーなどで分け調理師同士や保育士と確認している	17	2	0	0	

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
環境	①園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるように配慮している	11	9	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保育室内水道に清掃状況チェック表を設置し、意識的に清潔を保つことができるようにした ・非常階段に伸びるツタは非常時に危険なので定期的に切っている。又園長にツタバラの撤去も求めている ・園庭で遊ぶ前のチェックを実地しているが細かいガラスなどが落ちていて危険なので園庭も含め掃き掃除等を行っている
	②園内外の衛生面・安全面に配慮している	11	10	0	0	
	③園内に子ども達が季節感を味わえるような工夫をしている	12	6	2	0	
人権尊重	①子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるように配慮している	10	10	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・通訳アプリなどの導入があればよりよい ・園のしおりは中国版、英語版があったら良いと思う ・宗教上の理由による除去食対応を行っている ・日本国籍以外の保護者への伝達は直接説明したり不明な点を直接確認するようにしている ・食事に関する部分で保護者が不安に感じる事や相談があれば栄養士が対応していきたい ・必要な児に対しては面談を行ったり、声を掛け職員同士の情報共有も行うことができた
	②日本語によるコミュニケーションが困難な保護者に対して、園の意向や連絡事項が正しく伝わるように配慮している	8	9	3	0	
	③性差への先入観による固定的な概念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	9	12	0	0	
	④子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるように配慮している	10	10	1	0	
子育て支援	①保育園には子育ての相談などの子育て支援という役割が求められていることを受け止め、自分も積極的に関わりたいと考えている	11	7	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・面談記録等で情報を共有できるのが良い ・個別面談だけでなく、前期、後期等で全園児の面談があっても良いと思う ・主任に担任が相談する事が多く、どんなことでも情報交換がされ、必要であれば他の職員にも報告して連携が取れていると感じた ・積極的に保護者と会話するようにし、変化や悩みに気づけるようにしたり、話しやすい環境作りを行った ・定期的な面談や親同士の交流の場が少ないので、子育てサロンの会を作ってもいいと思う
	②家庭の状況や保護者との情報交換が、必要に応じて関係職員に周知されている	11	8	1	0	
	③保育士は日常、保護者や子どもの様子に注視し、虐待の予防や早期発見に努めている	12	9	0	0	
地域との連携	①地域の関係機関などと連携を深めるようにしている (育児相談などに際して、専門機関と相談や連携が出来ている)	6	7	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページが少しずつ稼働されて良い ・消防署見学等、取り入れても良い ・ハロウィンではら歳児が地域との交流の場を持つことができた。来年度は他クラスも関わりを持ってるとよい ・療育センターの方に訪問に来てもらい気になる子について相談や連携が取れた ・実習生は受け入れているがボランティアは受け入れたことがないので受け入れてもいいと思う ・巡回指導の方から療育センターについての話をしっかりと聞くことが出来保護者にすすめやすくなった
	②地域のイベントに参加したり、地域の人々と挨拶を交わし、交流を深めている	4	8	5	2	
	③ボランティア・保育実習の人々を積極的に受け入れている	8	7	1	1	
	④幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流している	4	6	5	2	
開かれた保育所づくり	①地域子育て支援センターとして、園庭を開放している	1	2	7	7	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ明けから、園庭開放のお知らせをホームページや園前に掲示してもよい ・園の行事へ地域の人々が参加出来る機会がもっとあるとよい ・職員に余裕が出来たら支援員を配置し地域に積極的に関わると良い ・ホームページは定期的に更新し、保護者にも発信した方が良いと思う ・一時保育を再開することが出来た ・子育て相談担当の職員を作ってもいいと思う(職員紹介記載されていると相談しやすいと思う)
	②地域の子どもたち同士、あるいは親子が一緒に遊ぶことが出来るような場の設定を行っている	1	2	8	6	
	③職員による育児に係る「子育て相談」は充実している	3	6	8	1	
	④保育参観に参加する等して、小学校の教育を理解している	2	6	6	2	
	⑤保育園だより、ホームページ、パンフレット等で施設の情報を発信している	6	10	2	1	
危機管理	①避難訓練・交通安全指導を行い、計画に基づいて適切に実施している	13	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・クリエイトに避難する訓練を入れてもよいと思う ・不審者訓練では外部と協力して行っている所もあとニュースで聞くので一度本格的にやってみてもよい ・近隣の連絡先を事務所に貼ってあるのを見て誰が見ても分かるようにしてあることに気づいた ・定期的に訓練をすることで子どもや職員は何をすべきかを確認出来ているので良いと思う
	②緊急時、慌てずに対応できるように、医療機関の連絡先をわかりやすく表示している	14	5	0	0	
	③乳幼児の安全を図るため、家庭・地域社会・関係機関と連携を図っている	8	6	3	1	
守秘義務	①子どもの個人記録は、個人情報保護法に基づき管理している	16	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラスで必要な個人情報の書類等を保管できる場所があるとよい ・連絡ノートの記入や事務作業の中で色々な情報が入るので守秘義務については気を付けて細心の注意をしていきたい ・個人記録は毎回児童票のボックスに入れておいた方がいい
	②保育業務で知りえた子どもの家庭に関して、職員に周知し、プライバシーを守り、他へ洩らしていない	14	6	0	0	
	③職員の私情や園の批判を軽はずみに口にしない	13	7	0	0	

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
園 研 内 修 外 の	①各研修会・講習会への参加は、自己課題をもって参加し、自分なりの 考えをまとめ、発信している	5	11	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・受けた研修に対して全体への伝達をもう少しできるようにしたい ・今年はキャリアアップ研修に参加させてもらいクラスに入った時は学んだ事を活かして子どもに対応出来るよう努めている ・園外研修に参加させて頂きとても勉強になりました
	②研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育成に反映させている	4	11	1	2	
組 織 運 営	①係りや仕事の分担・役割を理解し、正しく行っている	9	10	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・主任を中心にリーダーの役割分担が出来ていたと思う ・給食の運営において意見交換や伝達事項の共有が出来ていると感じます ・経験のない行事が一人の担当だったため、初行事担当は2人だと心強い ・係の負担の差が大きいの出来るだけ平等に分担できると良いと思う
	②職員相互がそれぞれに全体的立場を理解し、協力や助言を 惜しむことなく行い、保育園の運営にかかわっている	8	11	1	0	
	③子どものこと、クラスのこと等、必要なことは園長や主任に 報告・連絡・相談している	10	10	0	0	
職 員 と し て	①時間を守って勤務にあたっている	15	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・時間と気持ちに余裕がなく、相手の話を傾聴しきれないことが多かった ・身の回りの整理整頓、給食室内の清潔感を保てるように気を使っている。今後の課題として食材庫の整理を行っていききたい。またマニュアルを少しずつ作成しているが、誰がいつ入ってもある程度の業務が出来るようにしていきたい ・提出物の期限を後回しにしてしまうことが多いので気を引き締めていく ・子どもの呼び方についてクラス内で声を掛け合いながら改善できるように意識している ・職員としての項目は日々意識している事がほとんどです。計画性を持って業務にあたって計画通りにいかないこともありつつ、試行錯誤し反省を次回に活かしています。計画書は物によっては1か月前だとやや早く稀に食材がなく、急な変更が起きますがその都度対応して行えています。引き続き日頃の自分の中の土台をしっかり持ちながら積み上げていけたらと思います ・自分の意見を言ったりすぐに行動に移したりすることが出来たが、伝え方や行動する順序に配慮が足りなかったと思う ・決まりに対してルールになってしまう雰囲気は全体的にあるので、振り返る機会を作ったりお互い声を掛け合えるような環境作りが必要 ・仕事が遅いので他の職員がどのように仕事を進めているか良いところを盗んで自分も出来るようにしていきたい ・経験豊富な先輩の保育士と組まさせてもらった為、沢山の知識を吸収しわからないこと等相談することができた ・体調不良で欠席が多かったので来年度は体調管理をしっかり行っていききたい
	②挨拶がきちんとできる	18	3	0	0	
	③子どもに対しての対応は、公平さを欠かないようにしている	14	7	0	0	
	④園の消耗品や教材は、節約して使い、私用にっていない	18	3	0	0	
	⑤在庫がなくなった場合は、適切に対応できる	11	10	0	0	
	⑥服装・髪型・身だしなみなど清潔感を心掛けている	16	5	0	0	
	⑦締切日や提出物をきちんと守っている	11	7	3	0	
	⑧身の回りの整理整頓を心掛けている	13	6	2	0	
	⑨他の意見を素直な気持ちで聞き、自分の意見を述べられる	6	14	0	1	
	⑩わからないことは聞いて解決できる	14	7	0	0	
	⑪自分の役割が分かり、仕事に取り組んでいる	11	9	0	1	
	⑫上司の指示や職員間で決めたことをきちんと理解し、責任をもって実行 できている	9	11	0	1	
	⑬乳幼児や保育に関する情報を日頃から得ようとしている	9	11	1	0	
	⑭保育に携わるものとして、専門知識や技術を身に付けている	6	15	0	0	
	⑮仕事の手順を考え、能率的に行っている	10	10	0	1	
	⑯子どもを呼び捨てで、呼ばない	12	7	2	0	
	⑰保育者の人間性が、子どもに与える影響を自覚している	15	6	0	0	
	⑱引き継ぎ、伝達をきちんと伝えている	9	12	0	0	
	⑲計画性を持って業務にあたれている	8	10	3	0	